

公共事業継続箇所評価調書

(様式5)

評価確定日(令和5年9月29日)

事業コード	R5-建-継-19	区分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	総合流域防災事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 土買川	担当課長名	河川砂防課長 木次谷 英成
箇所名	大仙市土川	担当者名	チームリーダー 玉尾 毅
プランとの関連	戦略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	S56~R10(48年)	総事業費	35.3億円	国庫補助率	1/2																																													
事業規模	計画延長L=3,700m、計画高水流量Q=600m ³ /s(1/100)																																																	
事業の立案に至る背景	土買川の改修は、昭和44年に支川心像川を局部改良事業として着手したのが始まりであり、その後本川雄物川の背水の影響も大きいことから、雄物川合流点からJR奥羽本線鉄道橋間の1.2kmを直轄(国)により昭和46年に着手されている。しかし、当河川の現況流下能力は50m ³ /sと小さく、昭和22年、昭和47年、さらには昭和54~56年と連続して氾濫被害を受けた。このため早急に治水安全度の向上を図るべく事業立案されたものである。																																																	
事業目的	当該区間の浸水被害の解消を図るため、地域住民の生命と財産を守り、安全で安心できる地域づくりを推進するものである。																																																	
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>3,525,400</td> <td>3,525,400</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費</td> <td>工事費</td> <td>2,356,200</td> <td>2,356,200</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>522,700</td> <td>522,700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>646,500</td> <td>646,500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>1,762,700</td> <td>1,762,700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>1,586,400</td> <td>1,586,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>176,300</td> <td>176,300</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>築堤、護岸、河道掘削、橋梁、排水樋門</td> <td>築堤、護岸、河道掘削、橋梁、排水樋門</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費	3,525,400	3,525,400	0		経費	工事費	2,356,200	2,356,200	0	用補費	522,700	522,700	0	その他	646,500	646,500	0	内訳	国庫補助	1,762,700	1,762,700	0	県債	1,586,400	1,586,400	0	その他	0	0	0	一般財源	176,300	176,300	0	事業内容	築堤、護岸、河道掘削、橋梁、排水樋門	築堤、護岸、河道掘削、橋梁、排水樋門		
	前回評価	今回評価	増減	理由等																																														
事業費	3,525,400	3,525,400	0																																															
経費	工事費	2,356,200	2,356,200	0																																														
	用補費	522,700	522,700	0																																														
	その他	646,500	646,500	0																																														
内訳	国庫補助	1,762,700	1,762,700	0																																														
	県債	1,586,400	1,586,400	0																																														
	その他	0	0	0																																														
	一般財源	176,300	176,300	0																																														
事業内容	築堤、護岸、河道掘削、橋梁、排水樋門	築堤、護岸、河道掘削、橋梁、排水樋門																																																
事業の進捗状況	全体計画 35.3億円 令和4年度末投資額 32.0億円 進捗率 90.7%																																																	
事業推進上の課題	残区間の整備に当たっては、現河道を極力活用し、環境保全対策との調和を図りながら、コスト削減を推進し、事業の進捗を図っていく必要がある。																																																	
関連する計画等	新秋田元気創造プランにおいて、県が継続的に取り組むべき基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③の「頻発化・激甚化する水災害の備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。																																																	
情勢の変化及び長期継続の理由	取排水施設が多く、統合等の地元調整に期間を要している。 また、県全体での予算制約と全県域での浸水被害発生による情勢の変化により、事業期間を延長する必要がある。																																																	
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">河川整備率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">河川改修済み延長 / 要改修延長</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td colspan="2">○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>46.6%(R4末目標)</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td colspan="2">河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>46.7%(R4末実績)</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>100.2%</td> <td>把握の時期</td> <td colspan="2">令和5年3月</td> </tr> </table>					指標名	河川整備率				指標式	河川改修済み延長 / 要改修延長				指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		目標値 a	46.6%(R4末目標)	データ等の出典	河川砂防課調べ		実績値 b	46.7%(R4末実績)	達成率 b/a	100.2%	把握の時期	令和5年3月																			
指標名	河川整備率																																																	
指標式	河川改修済み延長 / 要改修延長																																																	
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																															
目標値 a	46.6%(R4末目標)	データ等の出典	河川砂防課調べ																																															
実績値 b	46.7%(R4末実績)																																																	
達成率 b/a	100.2%	把握の時期	令和5年3月																																															

前回評価 結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	当該河川は、豪雨によって浸水被害が頻繁に発生している。下流には重要な公共施設等もあることから、事業の必要性は高い。	28点
緊 急 性	未改修区間は現況流下能力が低く、毎年のように浸水被害が発生している。また、当該区域は重要水防区域に位置付けられていることから、緊急性は高い。	13点
有 効 性	改修が完成した区間では、災害防止効果が発現されている。	7点
効 率 性	事業の費用便益比は1.15であり、経済的な妥当性は満たしている。また、現川改修であり、経済性においても有利であるほか、掘削及び築堤を先行し、護岸は必要最小限の整備とすることによって、コスト削減を図っている。	15点
熟 度	無提区間は農耕地の浸水被害が頻発しており、地元からの河川改修の要望が高い。また、護岸整備を最小限とし、山付け部や現況河道を極力保全するなど、生態系に配慮している。	25点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	88点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に務めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R 5 - 建 - 継 - 1 9)
箇所名 (一級河川 土買川 大仙市土川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	488戸	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	200ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	3	西仙北中学校	
		1施設以上	3			
		なし	0			
	整備計画の策定					
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	R2.3		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計			30	28		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	13% (現況46/計画600=0.13)	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R5水防計画書より区分B		
	評定基準区分B	3				
計			15	13		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	0		
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	0		
地域開発の計画がある		1				
予定なし		0				
計			15	7		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.15	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	5	・護岸必要範囲の見直しによる面積縮減(片岸拡幅等) ・河道計画の見直しによる現場発生残土の発生抑制 ・現場発生土の他事業への有効活用	
		2項目	3			
		1項目	1			
		なし	0			
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5			
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			15	15		
熟度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5		
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書H30.6 大仙市	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	10	(R4) 32.0/(計画) 35.3 =90.7%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	5	・工事影響範囲が最小となる計画 ・水域等の魚類等の移動経路の確保 ・排出ガス対策型車両や機械の採用 ・法面等の緑化の実施		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計			25	25		
合計			100	88		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		